



千早赤阪村議会概要

令和7年10月
千早赤阪村議会

1. 村の概要

(1) 位置と地勢

本村は、大阪府の最南東に位置し、南東は国定公園・金剛葛城の連山、西は河内長野市、北西は富田林市、北東は河南町に隣接しており、東西7.7km、南北8.9km、面積は37.3km²、村域の約80%が杉・桧の林立する急峻な山間部で、平坦地はきわめて少ない。集落は平坦地、丘陵地にあり、北部は比較的密集しているが、山間地では散在している。金剛葛城の連山を背景に北西部の水田地帯に傾斜する標高差の大きな地形で、金剛山を源とする千早川と、葛城山を源とする水越川が村北部の水分地区で合流し、富田林市を流れる大和川支流の石川に注いでいる。

(2) 沿革

金剛葛城の自然にはぐくまれて発展してきた千早赤阪村の歴史は古く、雄略天皇狩猟の伝承があり、森屋地区にはこの時代の文化を物語る古墳や出土品が遺っている。7、8世紀頃には、役行者による修験道の霊地として栄え、14世紀には建武中興の中核となった豪族楠木正成の根拠地「千早赤阪」の名は太平記によって天下に知られた。豊臣秀吉の天下統一により厳しい検地を受け、また徳川幕府の下でも、森屋、川野辺は天領に、他の村々は下館藩主石川氏の領地となり、治下は明治維新まで、300年の長きにわたった。その後諸制度の改革により、明治14年堺県の廃止により大阪府への合併、明治21年市町村制公布の翌年、千早、東阪、中津原、小吹、吉年が千早村に、森屋、水分、二河原辺、桐山、川野辺が赤阪村となった。その後、郡制改廃により、石川郡から南河内郡へと変遷があり、昭和31年9月30日、千早村、赤阪村が合併し、千早赤阪村となった。

(3) 総人口（令和7年10月1日現在）

4,564人

(4) 世帯数（令和7年10月1日現在）

2,203世帯

(5) 面積

37.30 km²

(6) 産業別人口就業状況 (令和2年10月1日現在)

第1次産業 154人

第2次産業 503人

第3次産業 1,348人

(7) 「村の木」と「村の花」

村の木は、「くすのき」

村の花は、「やまゆり」

(8) 令和7年度会計別予算額比較表

(単位：千円)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	対前年度 増減率 (%)
一般会計	4,587,746	3,745,790	22.5

国民健康保険特別会計	807,880	837,896	▲3.6
(事業勘定)	775,663	810,757	▲4.3
(直営診療施設勘定)	32,217	27,139	18.7
介護保険特別会計	708,988	666,311	6.4
後期高齢者医療特別会計	162,754	170,632	▲4.6
特別会計合計	1,679,622	1,674,839	0.3

下水道事業会計	415,167	343,927	20.7
公営企業会計合計	415,167	343,927	20.7

総額	6,682,535	5,764,556	15.9
----	-----------	-----------	------

(9) 令和7年度一般会計予算

①歳入

(単位：千円)

款	予算額	構成比 (%)
村税	443,122	9.7
地方譲与税	32,961	0.7
利子割交付金	500	0.0
配当割交付金	4,500	0.1
株式等譲渡所得割交付金	3,000	0.1
法人事業税交付金	12,000	0.3
地方消費税交付金	115,000	2.5
ゴルフ場利用税交付金	17,500	0.4
環境性能割交付金	5,000	0.1
地方特例交付金	1,500	0.0
地方交付税	1,900,000	41.4
交通安全対策特別交付金	530	0.0
分担金及び負担金	2,141	0.1
使用料及び手数料	27,443	0.6
国庫支出金	412,749	9.0
府支出金	317,120	6.9
財産収入	7,841	0.2
寄附金	15,000	0.3
繰入金	1,019,567	22.2
繰越金	4,000	0.1
諸収入	89,072	1.9
村債	157,200	3.4
歳入合計	4,587,746	100.0

②歳出

(単位：千円)

款	予算額	構成比 (%)
議会費	73,006	1.6
総務費	1,002,968	21.9
民生費	988,109	21.6
衛生費	396,328	8.7
農林水産業費	83,554	1.8
商工費	591,382	12.9
土木費	436,157	9.5
消防費	189,399	4.1
教育費	451,571	9.8
災害復旧費	3	0.0
公債費	355,269	7.7
予備費	20,000	0.4
歳出合計	4,587,746	100.0

(10) 令和6年度財政指標 (参考)

実質赤字比率	—	連結実質赤字比率	—
実質公債費比率	7.1	将来負担比率	—
経常収支比率	84.8	財政力指数	0.243

2. 村議会の概要

(1) 議員定数・任期（令和7年10月1日現在）

現行議員定数	現行議員定数内訳	
	現在数	欠員数
7人	7人	0人

(2) 党派別議員数（令和7年10月1日現在）

無所属	公明党	日本共産党	計
5人	1人	1人	7人

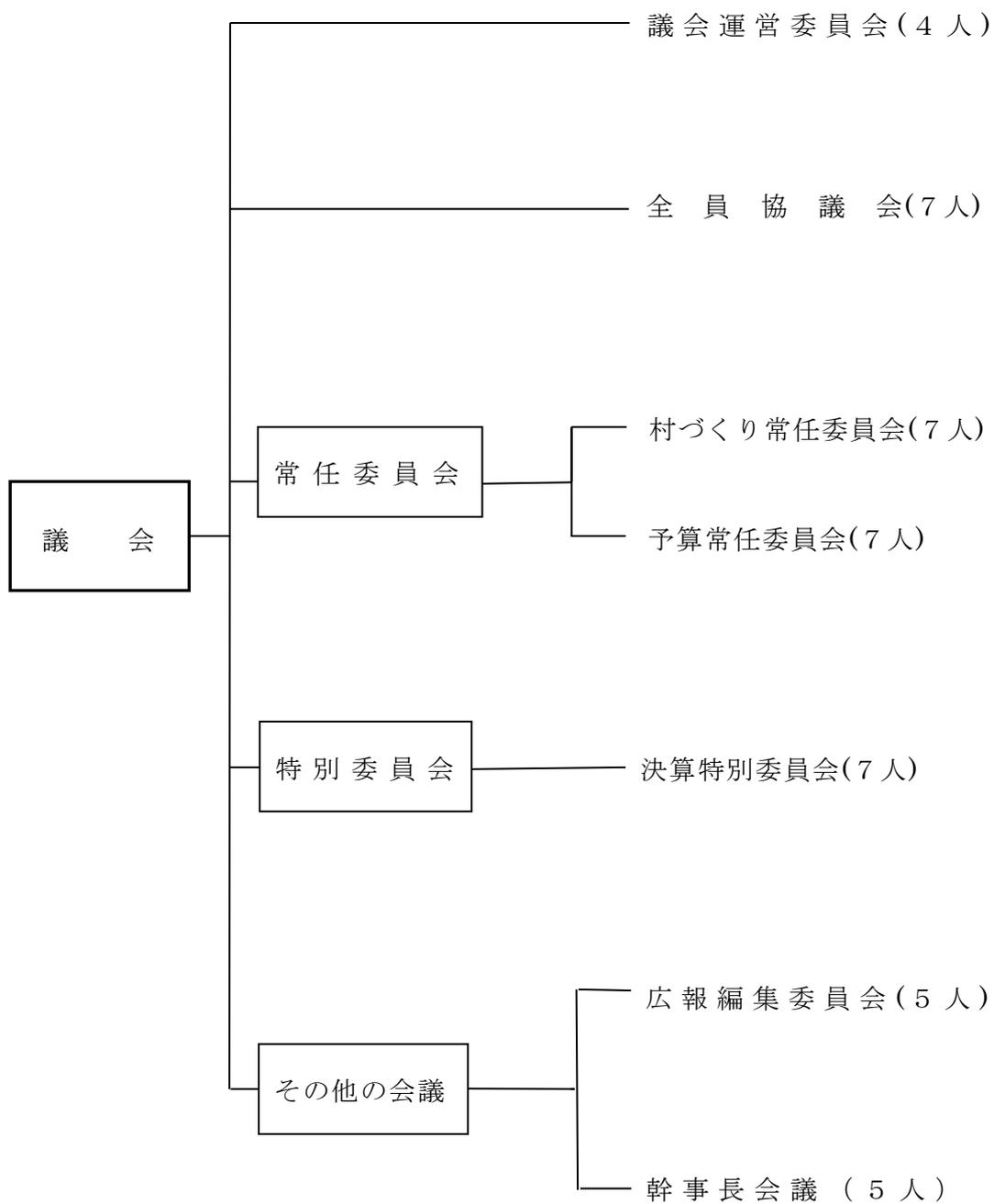
(3) 年齢別議員数（令和7年10月1日現在）

40～49才	50才～59才	60～69才	70才～	計
1人	0人	3人	3人	7人

(4) 在職年数別議員数（令和7年10月1日現在）

4年以下	4年を超え8年以下	8年を超え12年以下	12年を超え16年以下	16年を超え20年以下	20年を超え24年以下	24年を超えるもの	計
5人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	7人

(5) 構成 (令和7年10月1日現在)



(6) 令和7年度議会費

(単位：千円)

区分	金額
報酬	30,032
給料	7,995
職員手当等	18,433
共済費	10,448
旅費	883
交際費	80

区分	金額
需用費	1,803
役務費	111
委託料	1,651
使用料及び 賃借料	30
負担金補助 及び交付金	1,540
合計	73,006

(7) 議員報酬及び三役等給料月額 (現行改定日：令和7年4月1日)

(単位：千円)

報酬月額		
議長	副議長	議員
350	320	300
村長給料に対する比率		
51.9%	47.4%	44.4%

三役等の給料月額		
村長	副村長	教育長
675	650	560
報酬等 審議会 の有無	議員期末手当 (率)	
	6月	12月
有	2.30	2.30

(8) 議員の政務活動費

議会政務活動費として、月額15,000円/人を、会派に交付。

(9) 令和6年議会活動状況

① 定例会の開催状況

区分	会期 日数 (日)	会議 日数 (日)	提出 件数 (件)	議決 件数 (件)	請願 件数 (件)	一般 質問 者数 (人)	傍聴 者数 (人)
第1回定例会	22	3	28	28	0	4	11
第2回定例会	9	2	9	9	0	5	7
第3回定例会	16	3	13	13	0	6	15
第4回定例会	21	3	21	21	0	6	2
合計	68	11	71	71	0	21	35

② 臨時会の開催状況

区分	会期日数 (日)	提出件数 (件)	議決件数 (件)	請願件数 (件)	傍聴者数 (人)
第1回臨時会 (8/9)	1	3	3	0	0
合計	1	3	3	0	0

③ 定例会の付議案件

(単位：件)

区分		条例	予算	決算	意見書 決議 請願	その他	計
付議案件		25	28	5	7	6	71
内 訳	村長提出	24	28	5	0	6	63
	議員提出	1	0	0	7	0	8
審議結果		25	28	5	7	6	71
内 訳	可決・承認・ 同意等	25	28	5	7	6	71
	否決・不承認・ 不同意等	0	0	0	0	0	0

④臨時会の付議案件

(単位：件)

区分		条例	予算	決算	意見書 決議 請願	その他	計
付議案件		0	2	0	0	1	3
内 訳	村長提出	0	2	0	0	1	3
	議員提出	0	0	0	0	0	0
審議結果		0	2	0	0	1	3
内 訳	可決・承認・ 同意等	0	2	0	0	1	3
	否決・不承認・ 不同意等	0	0	0	0	0	0

⑤委員会・全員協議会の開催状況

委員会	会議日数 (日)	傍聴者数 (人)
総務民生常任委員会	4	0
文教建設常任委員会	4	0
決算特別委員会	1	0
当初予算特別委員会	3	0
議会運営委員会	11	0
地域公共交通対策特別委員会	2	0
全員協議会	4	0

⑥その他の会議等の開催状況

協議会等	会議日数
広報編集委員会	19
幹事長会議	4

(10) 議案・会議録・広報等

①議案

会議招集日前にあらかじめ配布

②会議録等

調整の方法 データ録音により業者委託で全文記録

③議会広報の発行

配布先と発行時期 全世帯と各種関係機関
毎定例会後年4回と新年号を発行

④議会映像の配信

役場庁内モニターでの生放送を実施
インターネットでの配信を実施

(11) 議会事務局

事務局 設置	職員定数 (条例)	職員現在数（令和7年10月1日現在）				
		区分	局長	主査	その他	合計
有	3人	正 規	1人	1人		2人
		会計年度 任用			2人	2人